

## 臨床研究への御協力をお願い

### 「FFPE 組織検体の固定条件と核酸およびタンパク品質との関連性についての研究」

病理検査では病変部の組織を採取、処理を行ってパラフィンブロックを作成します。これは数十年も形態的な保存が可能ですが、近年これに保存されるタンパク質や DNA から将来的な治療に必要な情報を読み取ることができるようになってきました。しかし処理の過程でタンパクや DNA の質が損なわれることがあり、今後品質のよい検体を保存していくために、損傷の度合いを検討する研究を行うこととなりました。

対象は当院に通院、入院されている病理検査を受けられた肺癌および乳癌の患者さんです。

具体的には、病気の診断に使われた病理パラフィンブロックと呼ばれる試料を用いて解析を行います。

本研究は全国 10 施設で行われる多施設共同研究で、個人情報の管理は厚生労働省、文部科学省から出された「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて適正に行います。全国の病院において多くの方を対象としますが、個人情報を特定できる情報は収集されません。

研究実施期間は 2019 年 9 月までです。集計された結果は国内外の学会や論文誌上で発表し、研究に用いられた情報は研究終了 5 年後に廃棄致します。

本研究により対象患者さんに新たに何かをお願いすることはありません。また、皆さんの医療費の負担が増える事はありません。

不参加の意思表示は自由ですので、その旨下記の担当医あるいは主治医にお話し下さい。不参加でも今後の診療に不利益を被ることはありません。

ご協力、宜しくお願いします。

何かご不明な点がありましたら、下記の研究責任者あるいは主治医にご相談下さい。

分担研究責任者：岡山医療センター 臨床検査科・科長 神農陽子

(086-294-9911)

研究代表者：北海道大学病院コンパニオン診断研究部門 特任講師 畑中 豊

ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社

富樫 謙一